

詳しい情報はWEBで！！「遠賀川河川事務所」のHP版の「流域だより」には、より詳細な情報と、たくさんの写真も掲載されています。

※検索画面において、[遠賀川流域だより ダウンロード](#) で検索してください。

遠賀川流域 団体紹介

川船製作研究会 実物大「川ひらた」が復元！！

川ひらたとは物資を運搬する為の船の総称です。最初は「米」を運搬していましたが、遠賀川流域で石炭が発掘されると石炭輸送として、我が国の近代化の一役を担いました。最盛期の明治時代には8千隻が遠賀川を往来していましたが、石炭の輸送手段が、鉄道に移ると昭和20年代には姿を消しました。

川船製作研究会では、川舟を通じて遠賀川の水や環境を水辺から、川面から美しくし、遠賀川流域の環境を向上させると共に地域の交流や発展に寄与することを目的として、実物大「川ひらた」を復元する事を決め、2009年11月から作成に取り組み、樹齢百年余の原木を使用し、2010年に完成させました。

この川ひらたは全長が13.8メートルもあり、当時と比較しても、最も大きな船の部類に入るほど大きな物です。進水式後に「NPO法人ふるさと幸袋まちづくり支援センター」に寄贈され、飯塚市の観光名所「伊藤伝右衛門邸」を中心とした地域おこしに利活用されるなど、多くの市民に愛用されることになります。



川船製作研究会のみなさん

金辺川を楽しむ会

金辺川をきれいな川にしたい

金辺川を楽しむ会では、「身边な川を常に意識し、使った水はきれいに返すこと、みんなで楽しめるきれいな金辺川にしていきたい」との思いで活動を続けています。

主な活動内容としては、毎月の河川清掃活動を始め、鮭の稚魚放流活動や、小学生向けに金辺川の魚達について学習する「金辺川自然探検」の講師、7月の夏休みに子ども達と金辺川の魚たちや水質のことについて学習する「めだかの学校」などを開催しています。

めだかの学校



金辺川自然探検



金辺川を楽しむ会のみなさん

金辺川を楽しむ会のみなさん

河川清掃活動



流域内のイベント等の予定

- ・10月24日(日) 遠賀川わくわく夢フェスタ (時間：10時～14時、場所：遠賀川河川敷 (直方市役所前))
- ・10月31日(日) We love 遠賀川穂波～秋の遠賀川ふるさと清掃運動会～
- ・10月31日(日) 源流の森再生プロジェクト (場所：嘉麻市土手 長野地区)
- ・10月31日(日) 春の小川まつり～河川清掃、チューリップ花壇の球根植え～ (場所：遠賀川地域防災施設 (遠賀川水辺館))
- ・11月14日(日) 犬鳴川一斉清掃

遠賀川流域活動報告

◆北九州市◆ 防災セミナーが開催されました 6月5日（土）

笹尾川水辺の楽校運営協議会の終了後、「平成21年7月中国・九州北部豪雨」についての報告、並びに**防災に関する講演会**が遠賀川河川事務所職員により河川敷で開催されました。まずは、被害の大きかった地点の雨量グラフや、写真等による気象状況の説明、川の水位で住民が避難する際の目安など、防災全般について説明されました。特に、ホームページや携帯サイトから手軽に河川情報を入手することができることや、各自治体から発表される「**避難準備情報・避難勧告・指示**」に注意しつつも、危険だと判断したら、指示がなくても**早めの避難**が必要なことを呼びかけていました。

会の終了後は参加者で河川敷の花壇に彼岸花やひまわりを植えたり、清掃活動も行いました。



防災セミナー説明の様子



詳しい記事を読む

詳しい記事を読む

◆田川市◆ 彦山川の河川敷で花壇の整備や河川敷の草刈りが実施されました 6月16日（水）

「田川ふるさと川づくり交流会」により彦山川河川敷の花壇の整備と草刈りが実施されました。

河川敷の草はすぐに成長し、花壇を覆い尽くします。綺麗な花壇を維持するためには**定期的な管理が必要**です。

会の皆さんボランティアで定期的な草刈りと、季節ごとに花を植える活動をしています。皆さんが日々綺麗な花々を目にすることができるの、このような活動のおかげなのです。



詳しい記事を読む

◆嘉麻市◆ 山田川の水環境を考えるシンポジウム開催 6月19日(土)

山田川は遠賀川の上流を流れる支川です。昔の山田川は石炭を舟で運ぶことができるほど水量がありましたが、近年では流れる水の量も減り、下水道や合併浄化槽の整備の遅れから生活雑排水は以前と変わらず直接川に流れ込み、遠賀川の支流（全74支流）の中で最も汚れた川となっています。

このことから山田川を清流に戻すため、**山田地区の市民有志が立ち上がり**、6月19日（土）に下山田小学校白馬ホールにおいてシンポジウムが開催されました。

基調講演では「山田川の水質浄化について」と題して、琉球大学名誉教授・名桜大学教授の比嘉照夫氏から**EM菌を使った河川の浄化**について説明されました。EM菌は酸化を抑え、汚染源をきれいにすることから米のとき汁で作るEM発酵液を使用して地域住民の生活の中で川をきれいにでき、すでに実績のある日本橋川やうるま市を例として紹介されました。

パネルディスカッションではコーディネーターにNPO法人遠賀川流域住民の会理事長窪山邦彦氏、パネリストに嘉麻市環境課課長補佐 安陪博士氏、遠賀川源流の森づくり推進会議会長森 祐治氏、環境を考える会会長 荒木紘子氏、山田川クリーン作戦実行委員会委員 畠吉明氏、山田ライオンズクラブ顧問 室井憲治氏よりそれぞれの活動報告があり、パネリストからはEM菌による浄化作戦の推進、水量の増加対策、環境意識の向上、洗剤の抑制、親しみやすい川づくりの推進、環境課長補佐から行政の対応として合併浄化槽の普及・促進と広報による環境浄化の推進等の説明があり、山田川の浄化の可能性について活発な意見が交わされました。



詳しい記事を読む

◆香春町◆ 香春町を探検して地図を作りました 6月21日(月)

「金辺川を楽しむ会」の皆さん、香春町立勾金小学校3年生の児童を対象に、金辺川のゴミ問題と生態系の変化についてレクチャーを実施しました。

ゴミ問題は毎月実施している流域での清掃活動を通して児童達に深刻さを説明。生態系で最も問題となっている「ブラックバス」や「ブルーギル」等の本来金辺川にいなかった外来種は、実は人為的に誰かが持ち込んだ為に起こった事などを説明しました。

参加した児童は、身近な金辺川が**実はゴミだらけ**だったり、**従来いるべき魚が外来種**によっていなくなってしまった事など一応にショックを受けていました。

レクチャーの最後には多くの児童から「魚たちが安心して住めるように、きれいな川にしたい。そのためには、**ゴミは捨てません**」などの前向きな意見が出され、普段身近な川の現状を知り、川を大切にする気持ちを幼い頃から植えつける事は重要だと感じました。



詳しい記事を読む

詳しい記事を読む

遠賀川流域活動報告

◆北九州市◆世界遺産・地域活性化シンポジウムin水巻「筑豊炭田～堀川～八幡製鐵」炭河鍋 7月3日(土)

「筑豊炭田～堀川～八幡製鐵」を世界遺産候補に！

世界遺産・地域活性化シンポジウムが、九州・山口の近代化産業遺産群関連遺産に登録を目指す筑豊近代遺産研究会・北九州地域史研究会により水巻町で開催されました。

基調講演会では、長弘 雄次氏（筑豊近代化遺産研究会会長 九州共立大学名誉教授）より「筑豊炭田の近代化産業遺産群」を、清水 憲一氏（九州国際大学 北九州地域史研究会代表）より「九州山口の近代化産業遺産群と世界遺産登録に向けた課題」を、陶山 正徳氏（福岡県企画・地域振興部総合政策課世界遺産登録推進室長）より「これまでの経緯と今後の登録に向けて」を講演されました。

長弘筑豊近代化遺産研究会長は今回のシンポジウムの総括として「炭鉱と製鉄は一連のもの、一つの物語として筑豊と北九州の両地域がまとまってアピールすることで地域の活性化につなげたい」と話されました。



◆中間市◆ 遠賀川中島再生ワークショップ 7月18日(日)

遠賀川の下流にある中島は、遠賀川の河口から11km付近(中間市)にある周囲約2.5km、面積約30ヘクタール(福岡ドーム4個分とほぼ同じ)の中州です。

この中島には、都市化が進む遠賀川中下流域において大規模なヨシ原やヤナギ林などの多様な植生や鳥類、哺乳類等、重要な生育・繁殖環境が残る大変貴重な場所となっていますが、近年では外来種の侵入や乾燥化が進み、中島本来の自然が失われつつあります。

そこで中島を対象とした「湿地の創出」や「人と川との絆の再構築」を目指した計画（遠賀川中島自然再生計画）の実行に向けて、2007年から「遠賀川中島自然再生ワークショップ」を立ち上げ、中島再生へ向けた議論を4年間で19回重ね「中島利活用マップ」を完成させました。

8月11日に開催された「第8回中島自然再生計画検討委員会」で、ワークショップの代表者が「中島利活用マップができるまでの4年間の報告」を説明し、「中島利活用マップ」は委員会により正式に承認されました。

ワークショップではこれからの維持管理について、「行政（国・中間市）と住民が協働して中島の利活用を考える仕組みづくりが大切。中島の恩恵を受ける住民が、外に向けてアピールし、内に向けては達成感が得られるイベントを企画しながら、維持管理体制に繋げることが重要」と考えています。

これからもワークショップは続きます。関心のある皆さんは下記までお問い合わせ下さい。

問合せ先：国土交通省遠賀川河川事務所 河川環境課 0949-22-1830



◆香春町◆ 金辺川めだかの学校が香春町呉ダム小川で開催 7月22日(木)

7月22日(木) 金辺川を楽しむ会が、香春町呉ダムの小川で、小学2年生から中学生の21人の子ども達を集め「めだかの学校」を開催しました。

講師は金辺川のお魚博士 守部さんと、近畿大学の学生さんで、子供達それぞれ各班に分かれて呉の小川を調査をしました。

金辺川にいる魚は絶滅危惧種のオヤニラミやギギ、カネヒラや、メダカ、ドジョウなど約30種ですが、今回、採取されたのはオイカワ・カワムツ・タカハヤ・ギギ・ドンコ・ブルーギル・カマツカなどでした。

お魚博士の守部先生は「たくさんの種類が棲む川は豊かな川、みんなでこれからも豊かな川にしていきましょう」と話され、参加した子供たちからは、「たくさんの魚が棲めるきれいな川にしたい。川を汚すゴミをなくしたい」と前向きな感想が聞かれました。



◆遠賀川流域◆ 遠賀川源流の森 下草刈り 7月25日(日)

「遠賀川源流の森の保水力を高め、樹木が豊かな森づくり」を目指して活動を展開している「遠賀川源流の森づくり推進会議」が、7月25日遠賀川源流近くの馬見地区において、落葉広葉樹の「下草刈り（幼木育成のために周りの草を刈り取る）」を実施しました。

参加された皆さんは、地元の方は勿論のこと、遠賀川流域で河川活動を行っている団体の皆さん、また、飯塚高校、嘉穂総合高校大隈城山校の生徒の皆さん、九州電力（北九州地区）、北九州水道局、芦屋町役場など、遠方からの参加も含め、総勢200名の皆さんのが参加されました。



詳しい記事を読む

詳しい記事を読む

詳しい記事を読む

詳しい記事を読む

情報をすばやく確実に受けるために

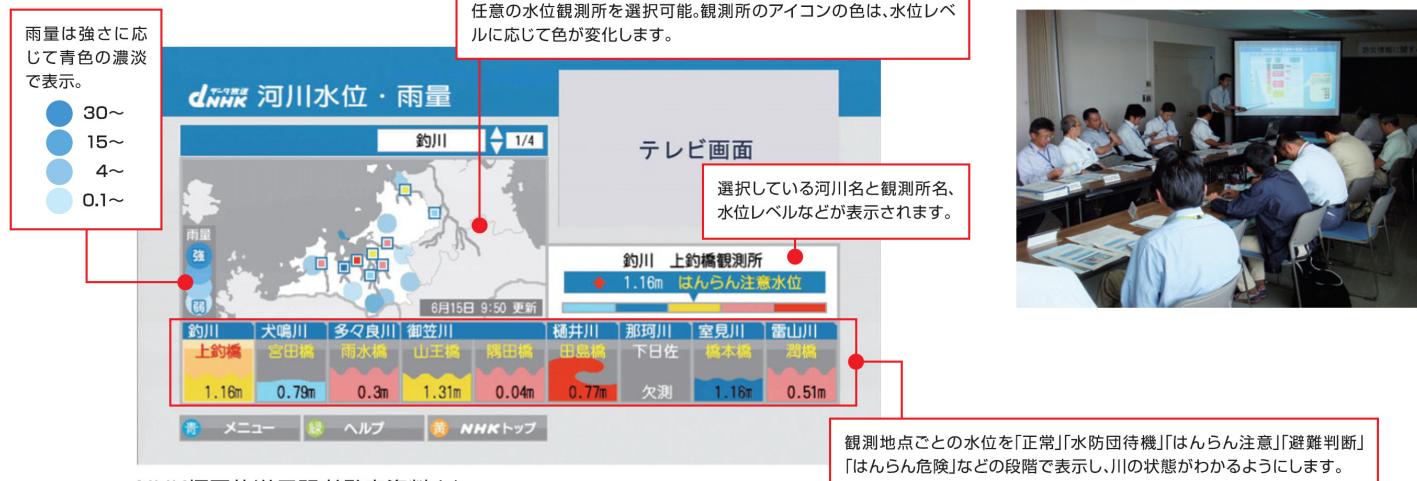
ご家庭の「テレビ」で川の情報がわかるようになります。

！ポイントはここ！

テレビ局の協力を得て、地上デジタル放送を通じて川の情報を提供できるようになります。自宅にいながら、自分が知りたい時に知りたい情報をることができます。テレビから緊急放送が出されることで、すばやく情報を知ることもできます。

※この取り組みを進めるためには、テレビ局の協力を得て推進することになります。

■地上デジタル放送画面イメージ



水かさが増えると「携帯電話」にメールでお知らせすることができます！

！ポイントはここ！

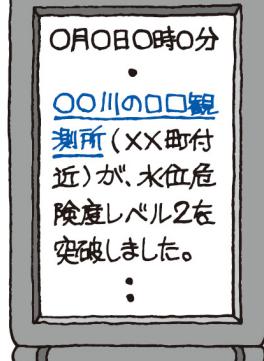
事前に欲しい情報を登録しておくことで、イザという時に必要な情報を携帯電話のメールで知ることができます。川の水かさが増えた時にはメールが危険を知らせてくれ、すばやく情報を知ることができます。

まず登録



さまざまな機会を利用して、携帯電話への登録方法を説明しています。

設定条件になると、
選択した情報をメールで配信。



必要な情報が自動的にメールで届きます。

プッシュ型河川情報アラームメールによる情報提供

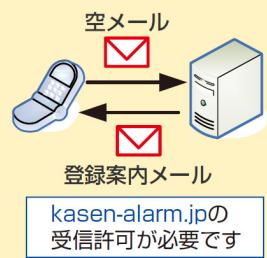
九州管内一級河川20水系に配置される雨量・水位観測所が基準値になれば携帯電話のメールにてお知らせします。

【ご登録は以下の方法で】

- ①メールアドレスを直接入力
- ②QRコードを使って



entry@kasen-alarm.jp



遠賀川流域だより

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

発行 国土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 (0949) 22-1830

FAX (0949) 22-2859

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

協力 NPO法人遠賀川流域住民の会

電話 0948-22-3535

<http://www.ongagawa.jp/>

